

教科	国語	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
じゅんばんに ならぼう	1	■出された課題に応じて、声をかけ合いながら順番に並ぶ。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。(A(1)エ)	自分が聞きたいことを粘り強く集中して聞き取り、学習課題に沿って声をかけ合い、正しい順番で並ぼうとしている。
絵を見て かこう つづけて みよう	1	■絵に描かれた様子を文章に書く。	第1学年に配当されている漢字を文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ)	絵の中から進んで書くことを見つけ、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
どんな おはなしかを たしかめて、音読しよう ふきのとう	9	■音読を聞き合い、感想を伝え合う。	・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ)	場面の様子を表す言葉を手がかりに粘り強く物語の内容を確かめ、これまでの学習をいかして音読を工夫し、感想を伝え合おうとしている。
図書館たんけん	1	■図書館の本の並べ方の決まりや工夫を見つけ、発表する。	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)		積極的に図書館の配架や本の並べ方を学び、学習課題に沿って自分の読みたい本を探そうとしている。
春がいっぱい	2	■春を感じるものを見つけ、自分の感想を添えた、春のカードを作る。	・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)	「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。

思い出して書こう 日記を 書こう	4	■身近な出来事を日記に書く。	言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。((1)ア)	「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	進んで経験したことなどから伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。
だいじな ことを おとさないように 聞こう ともだちは どこかな	5	■目的に応じて大事なことをメモしながら聞き取る。	・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。(A(1)エ)	自分にとって必要なことを集中して粘り強く聞き取り、これまでの学習をいかして簡潔にメモしようとしている。
じゅんじょに 気をつけて 読もう たんぽぽの ちえ	10	■植物の知恵について書かれている文章を読み、感想を書く。	・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)	粘り強く時間的な順序を考えて内容を捉え、学習の見通しをもって読んだ文章の感想を書こうとしている。
ていねいに かんさつして、きろくしよう かんさつ名人に なるう	10	■観察したことを記録する文章を書く。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)	「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	書くために必要な事柄を進んで集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にし、これまでの学習をいかして観察記録文を書こうとしている。
いなばの 白うさぎ	2	■神話の読み聞かせを聞き、感想を伝え合う。	神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア)		進んで神話の読み聞かせを聞き、これまでの学習をいかして感想を伝え合おうとしている。

同じ ぶぶんをもつ かん字	2	◎第2学年までに担当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。	第2学年までに担当されている漢字を読み、文や文章の中で使っている。((1)エ)		積極的に第2学年までに担当されている漢字の読み書きに取り組み、学習課題に沿って、同じ部分をもつ漢字を見つけようとしている。
お話を 読み、すきな ところをつたえよう スイミー	9	■物語を読み、好きな場面について伝え合う。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝え合おうとしている。
かん字の ひろば①	2	■絵を説明する文を書く。	・助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)	進んで第1学年に担当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書くようとしている。
【じょうほう】メモをとる とき	3	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア)	「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に必要な事柄を集め、これまでの学習をいかして知らせたいことをメモに取ろうとしている。
組み立てを 考えて 書き、知らせよう こんな もの、見つけたよ	10	■自分が見つけた「いいな」と思うものを友達に伝える文章を書く。	句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ)	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)	事柄の順序に沿った構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって、読み手に分かりやすく伝える文章を書くようとしている。

<p>あいての考えを引き出す しつもんをしよう あったらいいな、こんなもの</p>	7	<p>■質問をし合うことを通して考えをまとめる。</p>	<p>身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>	<p>・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)エ)</p>	<p>話し手が知らせたいことを落とさないように粘り強く聞き、学習課題に沿って質問をし合って考えをまとめようとしている。</p>
<p>夏がいっぱい</p>	2	<p>■夏を感じるものを見つけ、自分の感想を添えた、夏のカードを作る。</p>	<p>・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)</p>	<p>「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。</p>
<p>本はともだち お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし</p>	6	<p>■お気に入りの本を紹介し合う。</p>	<p>読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)</p>	<p>「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>進んで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。</p>
<p>雨のうた</p>	2	<p>■様子を想像しながら音読して、詩を楽しむ。</p>	<p>語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。((1)ク)</p>	<p>「読むこと」において、詩を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)</p>	<p>粘り強く語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読し、これまでの学習をいかして詩を楽しんで読もうとしている。</p>
<p>ことばでみちあんない</p>	3	<p>■友達と道案内をし合う。</p>	<p>共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p>	<p>・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。(A(1)エ)</p>	<p>話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って相手を目的地に導く道案内をしようとしている。</p>

みの回りのものを読もう	2	■身の回りの情報を集めて整理する。	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア)	・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)ウ)	【態】積極的に身の回りのものから重要な情報を読み取り、学習課題に沿って、考えを交流しようとしている。
書いたら、見直そう	2	◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。((1)ウ)	「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。(B(1)エ)	【態】進んで文章を読み返し、学習課題に沿って間違いなどを正そうとしている。
かん字の ひろば②	2	■絵の言葉を使って、日記を書くように文章を書く。	第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)	【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして日記を書こうとしている。
読んで考えたことを話そう どうぶつ園のじゅうい	10	■説明的な文章を読んで、考えたことを話す。	・文の中における主語と述語の関係に気づいている。((1)カ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)	進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、これまでの学習をいかして、文章を読んで考えたことを友達と話そうとしている。
かたかなのひろば	2	■絵の中の言葉を使って、文を作る。	片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。((1)ウ)	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	進んで片仮名を使って書く語を見つけ、学習課題に沿って文を書こうとしている。

ことばあそびをしよう	2	■言葉遊びを楽しむ。	長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。((3)イ)		進んで、言葉の豊かさに気づき、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。
なかまのことばとかん字	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。	・第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ)		【態】進んで、言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って仲間の言葉を集めようとしている。
かん字のひろば③	2	■絵を説明する文を書く。	・助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)	【態】進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文章を書こうとしている。
自分とくらべて読み、とうじょうじんぶつに手紙を書こう	12	■物語を読み、登場人物に向けて手紙を書く。	・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ)	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)	進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書こうとしている。
主語と述語に 気をつけよう	2	◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。	文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ)		【態】積極的に、主語と述語の関係に気づき、学習課題に沿って文中から主語と述語を捉えようとしている。

かん字の読み方	2	◎第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。	第2学年までに配当されている漢字を読んでいるとともに、文や文章の中で使っている。((1)エ)		進んで第2学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字の異なる読み方に気をつけて読もうとしている。
秋がいっぱい	2	■秋を感じる言葉や詩を見つけ、自分の感想を添えた、秋のカードを作る。	・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)	「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
みんなで話をつなげよう そうだんにのってください	8	■グループで相談する。	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A(1)オ)	積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
せつめいのしかたに 気をつけて読み、それをいかして書こう 紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう	14	■おもちゃの作り方を説明する文章を読み、それをいかして書く。	・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)	進んで文章の中の語や文を選び出したり、事柄の順序に沿って分かりやすく伝える書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもっておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。
にたいみのことば、はんたいの いみのことば	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。((1)オ)		【態】進んで言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って、似た意味の言葉や反対の意味の言葉の組を作ろうとしている。

せかい一の話	1	■昔話の読み聞かせを聞き、おもしろいと思うところを伝え合う。	昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。((3)ア)	「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)	【態】進んで昔話の読み聞かせを聞いて伝統的な言語文化に親しみ、これまでの学習をいかして、おもしろいと思うことを共有しようとしている。
かん字のひろば④	2	■数を表す言葉を使って、算数の問題を作って書く。	第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ)	「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。(B(1)ウ)	【態】進んで第1学年に担当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
思いうかべたことをもとに、お話をしようかしよう みきのたからもの	10	■物語を読み、あらすじをまとめて紹介する文章を書く。	・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ) ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。((3)エ)	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ)	【態】登場人物の様子を具体的に想像することに積極的に取り組み、学習の見通しをもってお話を紹介する文章を書こうとしている。
組み立てを考えて、お話を書こう お話のさくしゃになろう	10	■絵から想像を広げて物語を書く。	文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ)	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B(1)イ)	【態】事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿って物語を書こうとしている。
冬がいっぱい	2	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。	・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。((1)ア) ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)	「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。

ねこのこ おとのはなびら はんたいことば	2	■詩を楽しんで読み、お気に入り の詩をカードに書いて交流す る。	語のまとまりや言葉の響きなど に気をつけて音読している。 ((1)ク)	「読むこと」において、詩を讀ん で、感じたことや分かったことを 共有している。(C(1)カ)	詩を讀んで感じたことを進んで 共有し、学習課題に沿って詩を 紹介しようとしている。
かたかなのひろばで書くことば	2	■絵と対応する文を書く。	片仮名を讀み、書くとともに、片仮名で 書く語の種類を知り、文の中で使っ ている。((1)ウ)	「書くこと」において、語と語や文と 文との続き方に注意しながら、内 容のまとまりが分かるように書き表 し方を工夫している。(B(1)ウ)	積極的に、片仮名で書く語の種 類を知り、これまでの学習をい かして、片仮名を使って文を書 こうとしている。
ことばを楽しもう	1	■言葉遊びを楽しむ。	長く親しまれている言葉遊びを通し て、言葉の豊かさに気づいている。 ((3)イ)		積極的に、言葉の豊かさに気 づき、学習課題に沿って言葉遊 びを楽しもうとしている。
だいじなことばに気をつけて読 み、分かったことを知らせよう ロボット	12	■ロボットについて説明する文 章を讀み、考えたことを伝え合 う。	読書に親しみ、いろいろな本があ ることを知っている。((3)エ)	・「読むこと」において、文章の中の重要な 語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を讀んで感じた ことや分かったことを共有している。(C(1) カ)	文章を讀んで、感じたことや分か ったことを進んで共有し、学習の見 通しをもって、本を讀んで分かった ことを説明しようとしている。
ことばについて考えよう ようすをあらわすことば	4	■様子を表す言葉を使って文 を書く。	・言葉には、事物の内容を表す働 きがあることに気づいている。((1) ア) ・身近なことを表す語句の量を増 し、話や文章の中で使うことで、語 彙を豊かにしている。((1)オ)	「書くこと」において、語と語や文と文との続 き方に注意しながら、内容のまとまりが分 かるように書き表し方を工夫している。 (B(1)ウ)	進んで身近なことを表す語句の 量を増やして語彙を豊かにし、 学習課題に沿って、様子を表す 言葉を使って文を書こうとして いる。

詩を作って、読み合おう 見たこと、かんじたこと	6	■経験したことを基に詩を書いて、読み合う。	身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ)	「書くこと」において、詩に対する感想を伝え合い、自分の詩の内容や表現のよいところを見つけている。(B(1)オ)	【態】進んで感想を伝え合い、これまでの学習をいかして詩を書き、読み合おうとしている。
カンジーはかせの大はつめい	2	◎第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。	第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。((1)エ)		積極的に第2学年までに配当されている漢字を読んだり書いたりし、これまでの学習をいかして漢字クイズに取り組もうとしている。
思いをつたえる手紙を書こう すてきなところをつたえよう	10	■友達に手紙を書いて届ける。	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。((1)キ)	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	【態】積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。
読んで、かんじたことをつたえ合おう スーホの白い馬	14	■物語を読み、最も心を動かされたことについて、感想を交流する。	・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。((1)オ) ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ)	文章を読んで感じたことや分かったことを進んで共有し、学習課題に沿って、最も心を動かされたことを伝え合おうとしている。
かん字の広場⑤	2	■絵の様子を説明する文を書く。	・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)エ) ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。((1)カ)	「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	進んで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。

<p>組み立てを考えて、はっぴょうしよう 楽しかったよ、二年生</p>	<p>8</p>	<p>■心に残ったことを発表する。</p>	<p>・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。((1)イ) ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。((1)キ)</p>	<p>・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。(A(1)ウ)</p>	<p>行動したことや経験したことに基づいて話す事柄の順序を粘り強く考え、これまでの学習をいかして発表しようとしている。</p>
<p>二年生をふりかえって</p>	<p>1</p>	<p>■1年間の国語の学習活動を振り返って書く。</p>	<p>言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア)</p>	<p>「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p>	<p>進んで、経験したことなどから書くために必要な事柄を集めたり確かめたりし、これまでの学習をいかして、1年間の振り返りを書こうとしている。</p>